

# NEWS LETTER

---

2021年2月24日  
一般財団法人岩手経済研究所

## 岩手県内企業景況調査 - 2021年1月調査 - について

一般財団法人岩手経済研究所（理事長：高橋 真裕）は、定例の「岩手県内企業景況調査（2021年1月調査）」を実施しました。

本調査の概要は以下のとおりです。

**業況判断BSI マイナス 44.2**

※ 前回（2020年10月）調査比12.6ポイント上昇

**先行きのBSI マイナス 59.4**

本調査の内容は、別紙「岩手県内企業景況調査 - 2021年1月調査 - 」のとおりです。

また、詳しくは2月26日発行の当研究所機関誌「岩手経済研究 2021年3月号（No.460）」にも掲載いたします。

# 岩手県内企業景況調査

- 2021年1月調査 -

盛岡市中ノ橋通一丁目2番16号  
岩手銀行中ノ橋支店3階

一般財団法人 岩手経済研究所  
理事長 高橋 真裕

(担当 地域経済調査部 阿部 瑛子)  
TEL 019-622-1212

# 〈 調査結果の要約 〉

## － 景況感は2期連続で改善 －

### 1. 最近の景況感

県内企業の業況判断BSIはマイナス44.2と前回調査（2020年10月）を12.6ポイント上回った（図表1、2）。「良い」の割合は前回調査比1.4ポイント減となったものの、「悪い」の割合が同14.0ポイント減と大幅に減少したことで2期連続の改善となった。

本県経済においては新型コロナウイルスの感染拡大の影響などから厳しい状況が続いているものの、個人消費は持ち直しの動きが継続しているほか雇用情勢も足許で改善がみられるなど底入れの動きとなっており、今回調査では製造業のほか非製造業の一部で景況感が改善した。

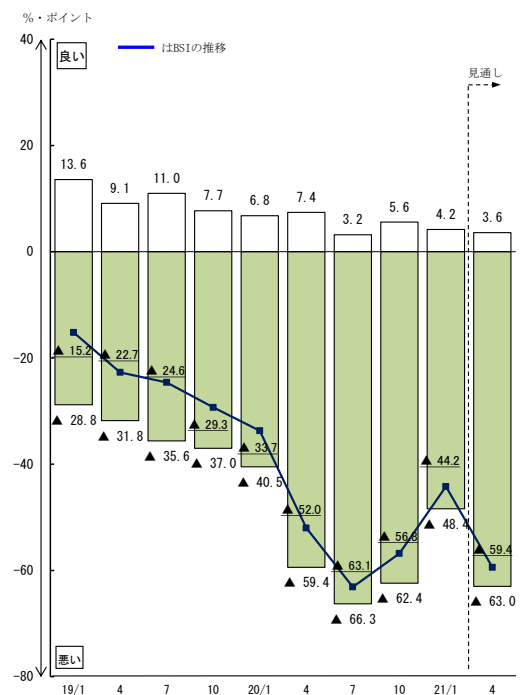
### 2. 先行きの見通し

今後3カ月間の先行きのBSIはマイナス59.4と現状を15.2ポイント下回る見通しであり、製造業と非製造業のいずれもマイナス幅が拡大している（同）。

図表1 業況判断BSI

業種	期	最近		先行き
		2020年10月調査	2021年1月調査	今後3カ月間
全産業		△ 56.8	↑ △ 44.2	↓ △ 59.4
製造業		△ 76.2	↑ △ 47.6	↓ △ 53.9
食料品		△ 81.0	↑ △ 70.6	↓ △ 76.5
木材・木製品		△ 62.5	↑ △ 37.5	↑ △ 25.0
窯業・土石		△ 33.3	↑ △ 20.0	↓ △ 70.0
金属製品		△ 100.0	↑ △ 50.0	→ △ 50.0
一般機械		△ 100.0	↑ △ 50.0	↑ △ 25.0
電気機械		△ 80.0	↑ △ 16.7	→ △ 16.7
その他		△ 91.7	↑ △ 58.3	→ △ 58.3
非製造業		△ 46.1	↑ △ 42.6	↓ △ 62.0
建設業		△ 6.7	↓ △ 23.1	↓ △ 30.8
卸売業		△ 63.6	↑ △ 28.9	↓ △ 63.1
小売業		△ 59.3	↑ △ 47.3	↓ △ 71.1
運輸業		△ 100.0	↑ △ 60.0	↓ △ 80.0
サービス業		△ 50.0	↓ △ 77.3	→ △ 77.3

図表2 業況判断BSIの推移（全産業）



### 3. 2021年度新規採用状況

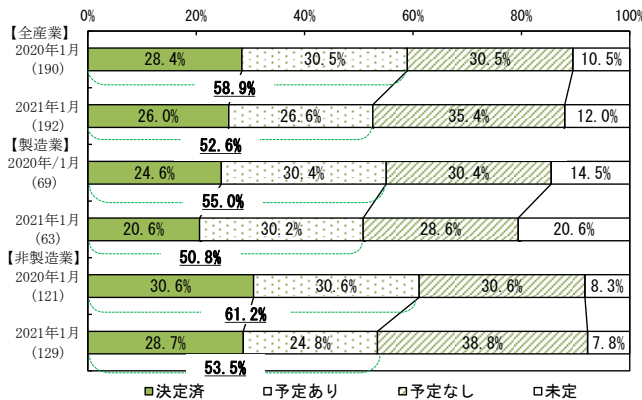
2021年度（2021年4月以降）の新規採用の状況についてアンケートを実施したところ、「採用者を決定した」（以下、「決定済」）と回答した割合は26.0%、「採用予定がある」（以下、「予定あり」）が26.6%、「採用予定がない」が35.4%などとなった（図表3）。

「決定済」と「予定あり」を合わせた割合（52.6%）は前年1月調査（58.9%）を下回っており、雇用人員BSIの結果（前年1月調査：マイナス35.8、今回調査：マイナス12.0）にも表れているように、企業の人手不足感が弱まり採用を抑制する動きが出ているものとみられる。

「採用予定がない」理由は「人手が充足しているため」が72.1%で最多となり、次いで「業況不振のため」が27.9%と前年から20ポイント以上上昇した。

採用人員の増減は「増加する」が33.7%、「変わらない」が44.6%、「減少する」が19.8%となった（図表4）。採用人員が「増加する」理由は「恒常的な人員補充のため」が64.7%で最多となった。また、「減少する」理由は「応募者がいないため」が50.0%、「人手が充足しているため」が45.0%などとなった。

図表3 新規採用状況（中途採用含む）

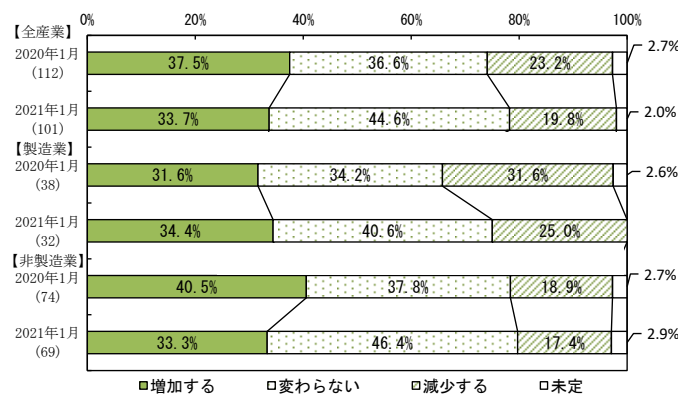


「採用予定がない」理由（複数回答、上位3項目）

1. 人手が充足しているため 72.1%（前回65.5%）
2. 業況不振のため 27.9%（同6.9%）
3. 応募者がいないため 14.7%（同24.1%）

(注) 1. ( ) 内は回答企業数  
2. 四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

図表4 採用人員の増減



「増加する」理由（複数回答、上位3項目）

1. 恒常的な人員補充のため 64.7%（前回76.2%）
2. 良質な人材確保のため 55.9%（同42.9%）
3. 事業拡大のため 11.8%（同4.8%）

「減少する」理由（複数回答、上位3項目）

1. 応募者がいないため 50.0%（前回76.9%）
2. 人手が充足しているため 45.0%（同26.9%）
3. 業況不振のため 15.0%（同7.7%）

(注) 1. ( ) 内は回答企業数  
2. 四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある

## < 調査要領 >

### 1. 調査内容

県内企業の2020年10～12月期の前年同期と比較した業況実績および2021年1～3月期の前年同期と比較した業況見通し等

### 2. 調査時期

2021年1月

### 3. 調査対象企業

県内企業 376社

### 4. 回答企業

業種	回答数
製造業	63社
建設業	26社
卸売業	38社
小売業	38社
運輸業	5社
サービス業	22社
合計	192社
回収率	51.1%

(注) B S I (Business Survey Index : 景況判断指数) は、企業の業況実績や企業経営者の業況見通し等を指標化したもので、「プラス(増加、上昇、過剰等)」と回答した企業割合から、「マイナス(減少、下降、不足等)」と回答した企業割合を差し引いた値である。